

たからづか都市計画マスタープランの見直し等について  
ニュースをお届けします！

人口減少や少子高齢化が進展するなか宝塚市が魅力的な街として持続していくための都市づくりを進めるため、令和元年（2019年度）～令和3年度（2021年度）の3年をかけて新しいまちづくり計画の策定（都市計画マスタープランの見直し、立地適正化計画の策定）を進めています。

Vol. 05では、宝塚市都市計画マスタープランの改定及び宝塚市立地適正化計画の策定にかかる住民説明会の結果についてご報告します。

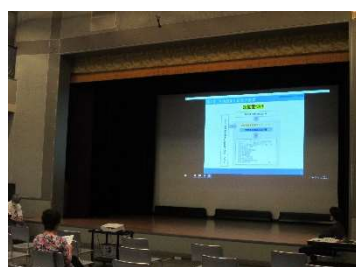
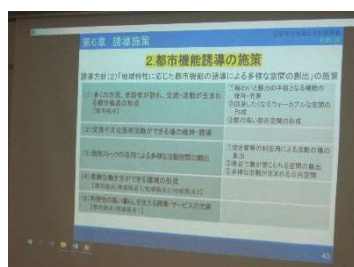
## 宝塚市都市計画マスタープランの改定及び宝塚市立地適正化計画の策定にかかる住民説明会を開催しました！

### 住民説明会について

宝塚市都市計画マスタープラン及び宝塚市立地適正化計画の原案について説明を行いました。また、説明会に併せて説明動画のWEB配信を行いました。

日時	場所	参加者
8月24日（火） 14:00～16:00	男女共同参画センター	1名
8月26日（木） 14:00～16:00	西公民館	3名
8月31日（火） 14:00～16:00	西谷会館	2名

WEB配信（令和3年8月17日～31日）	再生回数
宝塚市都市計画マスタープランの改定について	228回
宝塚市立地適正化計画の策定について	171回



## 主な意見



参加者

バスの利用者や便数が減少していることから、交通ネットワークの施策が重要だと考えます。

宝塚市都市計画マスタープラン及び宝塚市立地適正化計画では、「交通ネットワークの方針」として駅間及び駅－居住地間のネットワークの形成や、新たな移動手段の検討などを掲げています。具体的には別途策定の地域公共交通計画で示す予定です。



事務局



参加者

居住環境を守っていくため、これからは地域住民たちが地域の担い手をつくっていくことが重要だと考えます。そのために意欲を持った地域の担い手を育成するような支援制度が必要だと思います。

宝塚市都市計画マスタープランでは、「都市づくりにおける協働の推進」として多様な主体の活動の促進を掲げ、行政情報の蓄積と提供、出前講座や専門家派遣などを実施していくとしています。また、地域に応じた支援について、都市計画以外の分野と連携しながら進めていきたいと考えています。



事務局



参加者

都市計画決定された道路で 50 年以上着手されていないものを見直しに関する記載はありますか。

宝塚市都市計画マスタープランでは、「都市施設整備等の方針」として施設ごとの各種マネジメント計画などに基づく、体系的・計画的な整備を掲げています。都市計画道路の見直しはこの方針に基づき、個別計画で具体的な整備を行っていくことで考えています。



事務局



参加者

西谷地域では、移動手段、学校の維持をどうするのかという課題があります。これらのことについて都市計画とどのように関連付けられていますか。

北部地域については、平成 29 年策定の北部地域まちづくり基本構想で観光、農業振興、土地利用、公共交通などについての考え方を示し、これに基づき、各分野で事業を行っている状況です。さらに、土地利用については、平成 30 年策定の北部地域土地利用計画で考え方を示しています。公共交通については、地域公共交通計画を策定予定です。

宝塚市都市計画マスタープランでは、「土地利用の方針」として北部地域の方針を掲げ、また、「都市施設整備等の方針」として公共交通の方針を掲げています。



事務局